

令和9年度
専攻科学生募集要項

〔入学案内〕



独立行政法人 国立高等専門学校機構
石川工業高等専門学校

〒929-0392 石川県河北郡津幡町北中条
電話 076-288-8024 (学生課入学試験係)
FAX 076-288-8032 (学 生 課)
E-mail bosyu@ishikawa-nct.ac.jp
URL <https://www.ishikawa-nct.ac.jp/>

※本要項掲載の内容について変更する場合があります。変更する場合は本校WEBサイト等でお知らせします。

令和9年度 専攻科学生募集日程

推薦による選抜

出願期間	令和8年5月7日(木)～5月13日(水) ※持参する場合は9時～17時(土日を除く)
検査日	令和8年5月20日(水) 面接／9:00～
合格者発表日	令和8年5月25日(月)正午頃
意志確認書提出期限日	令和8年6月3日(水)17時必着

学力検査による選抜

出願期間	令和8年6月4日(木)～6月10日(水) ※持参する場合は9時～17時(土日を除く)
検査日	令和8年6月21日(日) 数 学／9:00～10:20 専門科目／10:50～12:10
合格者発表日	令和8年6月24日(水)正午頃
意志確認書提出期限日	令和8年11月27日(金)17時必着

社会人特別選抜

出願期間	令和8年6月4日(木)～6月10日(水) ※持参する場合は9時～17時(土日を除く)
検査日	令和8年6月21日(日) 面接／10:00～
合格者発表日	令和8年6月24日(水)正午頃
意志確認書提出期限日	令和8年11月27日(金)17時必着

【出願についての注意事項】

下記①, ②に該当する方は、出身校において取得した授業科目について確認したいので、必ず、出願期間初日の1か月前までに本校学生課入学試験係に照会してください。

なお、該当する方は、入学後に(独)大学改革支援・学位授与機構の「学士の学位授与に係る特例の適用認定(特例認定)」の適用を受けられるかの確認を行う必要があります。

確認の結果によっては、専攻科修了要件を満たしても、特例認定の対象にならず、通常の申請になる場合があります。

- ①「推薦による選抜」または「学力検査による選抜」へ出願を希望する者で、令和9年3月に本校卒業見込以外の者
- ②「社会人特別選抜」へ出願を希望する者

目 次

専攻科学生募集要項

I	専攻科のアドミッションポリシー（入学者受入方針）	1
II	募 集 人 員	1
III	選 抜 方 法	1
IV	推薦による選抜	2
	1. 出願資格	2
	2. 出願期間及び提出先	2
	3. 出願手続及び出願書類等	2
	4. 選抜の方法	3
	5. 受験上の注意事項	3
	6. 合格者の発表	4
	7. 意志確認書の提出	4
	8. 入学手続等	4
	9. 「推薦による選抜」に合格しなかった者の取扱い	4
	10. 障害等のある者の出願	4
V	学力検査による選抜	5
	1. 出願資格	5
	2. 出願期間及び提出先	5
	3. 出願手続及び出願書類等	5
	4. 選抜の方法	6
	5. 受験上の注意事項	7
	6. 合格者の発表	7
	7. 意志確認書の提出	7
	8. 入学手続等	7
	9. 障害等のある者の出願	7
VI	社会人特別選抜	8
	1. 出願資格	8
	2. 出願期間及び提出先	8
	3. 出願手続及び出願書類等	8
	4. 選抜の方法	9
	5. 受験上の注意事項	10
	6. 合格者の発表	10
	7. 意志確認書の提出	10
	8. 入学手続等	10
	9. 障害等のある者の出願	10
VII	金沢大学と石川工業高等専門学校との連携教育プログラムについて	11
VIII	個人情報取扱い	11
	専攻科入学案内	12

令和9年度 専攻科学生募集要項

I 専攻科のアドミッションポリシー（入学者受入方針）

1. 高等専門学校などにおいて工学の基礎を修得した人
2. 幅広い分野の工学知識について学習する意欲のある人
3. 国際的に通用する技術者として、社会貢献する意欲のある人

II 募 集 人 員

電子機械工学専攻	12名
環境建設工学専攻	8名

III 選 抜 方 法

入学者の選抜は、推薦による選抜、学力検査による選抜及び社会人特別選抜とし、次のとおり実施します。

選 抜 区 分	検 査 期 日
推 薦 に よ る 選 抜	令和8年5月20日（水）
学 力 検 査 に よ る 選 抜	令和8年6月21日（日）
社 会 人 特 別 選 抜	令和8年6月21日（日）

IV 推薦による選抜

1. 出願資格

次の各号のいずれにも該当し、高等専門学校長の推薦を得た者

- (1)令和 9 年 3 月に高等専門学校卒業見込みの者
- (2)学業成績及び人物が優れていると認められる者
- (3)本校に合格した場合、確実に入学する意志がある者

【本校卒業見込以外の者に対する留意事項】

本校卒業見込以外の者で出願しようとする者は、入学後に（独）大学改革支援・学位授与機構の「学士の学位の授与に係る特例の適用認定（特例認定）」の適用を受けられるかの確認をする必要があります。確認の結果によっては、専攻科修了要件を満たしても、特例認定の対象にならず通常の申請になる場合があります。また、出身校において取得した授業科目について確認する必要があります。確認の結果によっては、専攻科修了要件を満たしても JABEE 認定プログラム修了ができない場合があります。必ず、出願期間初日の 1 か月前までに本校学生課入学試験係に照会してください。

2. 出願期間及び提出先

- (1)出願期間 令和 8 年 5 月 7 日（木）～5 月 13 日（水） 9:00～17:00

（土日を除く。郵送の場合も、出願期間内に必着）

- (2)提出先 石川工業高等専門学校 学生課入学試験係

〒929-0392 石川県河北郡津幡町北中条

3. 出願手続及び出願書類等

出願者は、次の書類等を取りまとめ、提出してください。

本校所定の用紙については下記の本校 WEB サイトからダウンロードしてください。印刷する際は、A4 サイズの用紙を使用してください。

本校 WEB サイト <https://www.ishikawa-nct.ac.jp/adm/>

①	入学願書	本校所定の用紙に必要事項を記入してください。
②	写真票及び受験票	本校所定の用紙に必要事項を記入し、写真を所定の位置に貼付してください。【写真は、正面上半身、無帽、無背景（縦 4cm×横 3cm）で、出願前 3 か月以内に撮影したもの。裏面に、志望専攻と氏名を記入してください。】
③	志望理由書	本校所定の用紙に必要事項を記入してください。
④	推薦書	本校所定の用紙により、出身学校長が作成してください。
⑤	調査書	本校所定の用紙により、出身学校長が作成し厳封してください。
⑥	TOEIC スコア	出願期間初日から 2 年以内に受験した TOEIC 公開テスト結果 Official Score Certificate（公式認定証）又は TOEIC IP テスト結果 Score Report（個人成績表） *コピー不可。必ず原本を提出してください。なお、原本は受験票交付時に返還します。

⑦	検定料を振り込んだことが証明できるものの写し	<p>検定料 16,500円 振込期間 令和8年4月24日(金)～5月13日(水)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上記期間に下記口座へ振込の上、振込が証明できるもの(振込日付のある「振込金証明書」やATMでの「ご利用明細書」等)の写し(A4サイズ)を提出してください。 ・金融機関窓口、ATM(現金自動預払機)、インターネットから、のいずれの振込も受け付けます。 ・振込手数料はご負担ください。 <p>振込先：北國銀行 津幡支店 口座種別：普通預金 口座番号：428719 受取人：独立行政法人国立高等専門学校機構本部</p> <p>既納の検定料は、以下の場合を除き返還できません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検定料を払い込んだが、出願書類を提出しなかった又は受理されなかった場合 ・検定料を誤って二重に払い込んだ場合 <p>上記に該当し、検定料の返還手続きを行う場合は、担当まで連絡してください。</p> <p>ただし、検定料振込時の手数料は返還の対象外です。 担当：石川工業高等専門学校 総務課財務係 電話 076-288-8021</p>
⑧	その他	現に日本国に在住している外国人は、市区町村長の交付する「住民票の写し」を提出してください。

※出願に関する注意事項

- ① 書類提出後は、記載事項の変更及び書類の返還は認めません。
- ② 出願書類の記載事項と相違した事実が判明した場合は、入学を取り消すことがあります。
- ③ 郵送する場合は、書留郵便とし、角型2号の封筒に入れて封筒の表に「専攻科出願書類在中」と朱書してください。

4. 選抜の方法

入学者の選抜は、面接、出身学校長から提出された推薦書、調査書及びTOEICのスコアを総合判定して行います。面接を受験しないと失格(不合格)になります。

面接期日等

期 日	区 分	時 間	場 所
令和8年5月20日(水)	面 接	9:00～	石川工業高等専門学校 (石川県河北郡津幡町北中条)

5. 受験上の注意事項

- (1)面接当日は、8時40分までに受付を済ませてください。20分以上遅刻した場合は、受験できません。
- (2)交通機関の混乱等、不測の事態に備え、受験者はあらかじめ十分な対策を講じておいてください。
- (3)受験票、筆記用具及び時計を必ず持参してください。

6. 合格者の発表

令和8年5月25日(月)正午頃に本校構内に掲示するほか、受験者全員に可否を文書で通知します。電話又は電子メール等による可否の照会には応じません。

7. 意志確認書の提出

合格通知を受けた者は、「意志確認書」を令和8年6月3日(水)17時必着で石川工業高等専門学校学生課入学試験係へ提出してください。

8. 入学手続等

入学手続日、入学に必要な書類等については、「意志確認書」で入学の意志を表示した者に、2月下旬に通知します。

9. 「推薦による選抜」に合格しなかった者の取扱い

「推薦による選抜」の結果、合格とならなかった者で「学力検査による選抜」の受験を希望する者は、「学力検査による選抜」に定めるところにより、再度出願の手続きを行ってください。なお、この際は「志望理由書」及び「調査書」の提出を要しませんが、検定料は必要です。

10. 障害等のある者の出願

障害等があり、受験及び修学上特別な配慮を必要とする者は、出願に先立ち、事前に相談してください。

相談先：石川工業高等専門学校 学生課入学試験係

〒929-0392 石川県河北郡津幡町北中条 電話 076-288-8024

V 学力検査による選抜

1. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者

- (1)高等専門学校を卒業した者又は令和 9 年 3 月に卒業見込みの者
- (2)高等学校の専攻科を修了した者又は令和 9 年 3 月修了見込みの者のうち、学校教育法第 58 条の 2 の規定により、大学に編入学することができる者
- (3)短期大学を卒業した者又は令和 9 年 3 月に卒業見込みの者
- (4)専修学校の専門課程を修了した者又は令和 9 年 3 月修了見込みの者のうち、学校教育法第 132 条の規定により、大学に編入学することができる者
- (5)外国において、学校教育における 14 年の課程を修了した者又は令和 9 年 3 月に修了見込みの者
- (6)外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 14 年の課程を修了した者又は令和 9 年 3 月に修了見込みの者
- (7)我が国において、外国の短期大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 14 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者又は令和 9 年 3 月に修了見込みの者
- (8)その他、本専攻科において、高等専門学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

【本校卒業見込以外の者に対する留意事項】

本校卒業見込以外の者で出願しようとする者は、入学後に（独）大学改革支援・学位授与機構の「学士の学位の授与に係る特例の適用認定（特例認定）」の適用を受けられるかの確認をする必要があります。確認の結果によっては、専攻科修了要件を満たしても、特例認定の対象にならず通常の申請になる場合があります。また、出身校において取得した授業科目について確認する必要があります。確認の結果によっては、専攻科修了要件を満たしても JABEE 認定プログラム修了ができない場合があります。必ず、出願期間初日の 1 か月前までに本校学生課入学試験係に照会してください。

2. 出願期間及び提出先

- (1)出願期間 令和 8 年 6 月 4 日（木）～6 月 10 日（水） 9:00～17:00
（土・日を除く。郵送の場合も、出願期間内に必着）
- (2)提出先 石川工業高等専門学校 学生課入学試験係
〒929-0392 石川県河北郡津幡町北中条

3. 出願手続及び出願書類等

出願者は、次の書類等を取りまとめ、提出してください。

本校所定の用紙については下記の本校 WEB サイトからダウンロードしてください。印刷する際は、A4 サイズの用紙を使用してください。

本校 WEB サイト <https://www.ishikawa-nct.ac.jp/adm/>

①	入学願書	本校所定の用紙に必要事項を記入してください。
②	写真票及び受験票	本校所定の用紙に必要事項を記入し、写真を所定の位置に貼付してください。【写真は、正面上半身、無帽、無背景（縦 4cm×横 3cm）で、出願前 3 か月以内に撮影したもの。裏面に、志望専攻と氏名を記入してください。】

③	志望理由書	本校所定の用紙に必要事項を記入してください。
④	調査書	本校所定の用紙により，出身学校長が作成し厳封してください。
⑤	TOEIC スコア	出願期間初日から 2 年以内に受験した TOEIC 公開テスト結果 Official Score Certificate（公式認定証）又は TOEIC IP テスト結果 Score Report（個人成績表） *コピー不可。必ず原本を提出してください。なお，原本は受験票交付時に返還します。
⑥	検定料を振り込んだことが証明できるものの写し	検定料 16,500 円 振込期間 令和 8 年 5 月 28 日（木）～ 6 月 10 日（水） ・上記期間に下記口座へ振込の上，振込が証明できるもの（振込日付のある「振込金証明書」や ATM での「ご利用明細書」等）の写し（A4 サイズ）を提出してください。 ・金融機関窓口，ATM（現金自動預払機），インターネットから，のいずれの振込も受け付けます。 ・振込手数料はご負担ください。 振込先：北國銀行 津幡支店 口座種別：普通預金 口座番号：428719 受取人：独立行政法人国立高等専門学校機構本部 既納の検定料は，以下の場合を除き返還できません。 ・検定料を払い込んだが，出願書類を提出しなかった又は受理されなかった場合 ・検定料を誤って二重に払い込んだ場合 上記に該当し，検定料の返還手続きを行う場合は，担当まで連絡してください。 ただし，検定料振込時の手数料は返還の対象外です。 担当：石川工業高等専門学校 総務課財務係 電話 076-288-8021
⑦	その他	現に日本国に在住している外国人は，市区町村長の交付する「住民票の写し」を提出してください。

※出願に関する注意事項

- ① 書類提出後は，記載事項の変更及び書類の返還は認めません。
- ② 出願書類の記載事項と相違した事実が判明した場合は，入学を取り消すことがあります。
- ③ 郵送する場合は，書留郵便とし，角型 2 号の封筒に入れて封筒の表に「専攻科出願書類在中」と朱書してください。

4. 選抜の方法

入学者の選抜は，学力検査，出身学校長から提出された調査書を総合判定して行います。

学力検査は，数学及び専門科目について筆記試験を行い，英語については出願時に提出された，TOEIC のスコアにより評価します。1 科目でも受験しないと失格（不合格）になります。

なお，配点は，数学 150 点，専門科目 300 点，英語 100 点とします。

(1)学力検査期日等

期 日	科 目	時 間	場 所
令和 8 年 6 月 21 日 (日)	数 学 専門科目	9:00~10:20 10:50~12:10	石川工業高等専門学校 (石川県河北郡津幡町北中条)

(2)学力検査科目及び出題範囲

科 目	出 題 範 囲
数 学	基礎数学, 線形代数, 解析学Ⅰ, 解析学Ⅱ, 確率・統計
専門科目	電子機械工学専攻 機械力学 (工業力学を含む), 材料力学, 熱流体 (熱工学と流れ学), 電気磁気学, 電気回路, 電子回路, 情報 (アルゴリズム, プログラミング, 情報理論), デジタル回路 (コンピュータアーキテクチャを含む) (以上 8 科目から 3 科目選択)
	環境建設工学専攻 構造力学 (不静定構造を含む), 水理学, 土質力学, 建築計画, 建築構造, 建築環境工学 (以上 6 科目から 3 科目選択)

5. 受験上の注意事項

- (1)学力検査当日は、8 時 40 分までに受付を済ませてください。20 分以上遅刻した場合は、受験できません。
- (2)交通機関の混乱等、不測の事態に備え、受験者はあらかじめ十分な対策を講じておいてください。
- (3)受験票、筆記用具及び時計を必ず持参してください。

6. 合格者の発表

令和8年6月24日(水)正午頃に本校構内に掲示するほか、受験者全員に可否を文書で通知します。電話又は電子メール等による可否の照会には応じません。

7. 意志確認書の提出

合格通知を受けた者は、「意志確認書」を令和8年11月27日(金)17時必着で石川工業高等専門学校学生課入学試験係へ提出してください。

8. 入学手続等

入学手続日、入学に必要な書類等については、「意志確認書」で入学の意志を表示した者に、2月下旬に通知します。

なお、企業等に在職のまま入学を希望する者は、入学手続日までに所属企業等の長の承諾書を提出してください。

9. 障害等のある者の出願

障害等があり、受験及び修学上特別な配慮を必要とする者は、出願に先立ち、事前に相談してください。

相談先：石川工業高等専門学校 学生課入学試験係

〒929-0392 石川県河北郡津幡町北中条 電話 076-288-8024

VI 社会人特別選抜

1. 出願資格

次の各号のいずれかに該当し、かつ出願時において企業等の在職期間が1年以上ある者

- (1)高等専門学校を卒業した者
- (2)高等学校の専攻科を修了した者のうち、学校教育法第58条の2の規定により、大学に編入学することができる者
- (3)短期大学を卒業した者
- (4)専修学校の専門課程を修了した者のうち、学校教育法第132条の規定により大学に編入学することができる者
- (5)外国において、学校教育における14年の課程を修了した者
- (6)外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における14年の課程を修了した者
- (7)我が国において、外国の短期大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における14年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (8)その他、本専攻科において、高等専門学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

【出願しようとする者に対する留意事項】

出願しようとする者は、入学後に（独）大学改革支援・学位授与機構の「学士の学位の授与に係る特例の適用認定（特例認定）」の適用を受けられるかの確認をする必要があります。確認の結果によっては、専攻科修了要件を満たしても、特例認定の対象にならず通常の申請になる場合があります。また、出身校において取得した授業科目について確認する必要があります。確認の結果によっては、専攻科修了要件を満たしてもJABEE認定プログラム修了ができない場合があります。必ず、出願期間初日の1か月前までに本校学生課入学試験係に照会してください。

2. 出願期間及び提出先

- (1)出願期間 令和8年6月4日（木）～6月10日（水） 9:00～17:00
（土・日を除く。郵送の場合も、出願期間内に必着）
- (2)提出先 石川工業高等専門学校 学生課入学試験係
〒929-0392 石川県河北郡津幡町北中条

3. 出願手続及び出願書類等

出願者は、次の書類等を取りまとめ、提出してください。

本校所定の用紙については下記の本校WEBサイトからダウンロードしてください。印刷する際は、A4サイズの内紙を使用してください。

本校WEBサイト <https://www.ishikawa-nct.ac.jp/adm/>

①	入学願書	本校所定の用紙に必要事項を記入してください。
②	写真票及び受験票	本校所定の用紙に必要事項を記入し、写真を所定の位置に貼付してください。【写真は、正面上半身、無帽、無背景（縦4cm×横3cm）で、出願前3か月以内に撮影したもの。裏面に、志望専攻と氏名を記入してください。】
③	志望理由書	本校所定の用紙に必要事項を記入してください。

④	調 査 書	本校所定の用紙により，出身学校長が作成し厳封してください。 ただし，在学中の状況欄については記入する必要はありません。
⑤	T O E I C ス コ ア	出願期間初日から 2 年以内に受験した TOEIC 公開テスト結果 Official Score Certificate（公式認定証）又は TOEIC IP テスト結果 Score Report（個人成績表） *コピー不可。必ず原本を提出してください。なお，原本は受験票交付時に返還します。
⑥	検定料を振り込んだことが証明できるものの写し	検 定 料 16,500 円 振込期間 令和 8 年 5 月 28 日（木）～ 6 月 10 日（水） ・上記期間に下記口座へ振込の上，振込が証明できるもの（振込日付のある「振込金証明書」や ATM での「ご利用明細書」等）の写し（A4 サイズ）を提出してください。 ・金融機関窓口，ATM（現金自動預払機），インターネットから，のいずれの振込も受け付けます。 ・振込手数料はご負担ください。 振 込 先：北國銀行 津幡支店 口座種別：普通預金 口座番号：428719 受 取 人：独立行政法人国立高等専門学校機構本部 既納の検定料は，以下の場合を除き返還できません。 ・検定料を払い込んだが，出願書類を提出しなかった又は受理されなかった場合 ・検定料を誤って二重に払い込んだ場合 上記に該当し，検定料の返還手続きを行う場合は，担当まで連絡してください。 ただし，検定料振込時の手数料は返還の対象外です。 担当：石川工業高等専門学校 総務課財務係 電話 076-288-8021
⑦	そ の 他	現に日本国に在住している外国人は，市区町村長の交付する「住民票の写し」を提出してください。

※出願に関する注意事項

- ① 書類提出後は，記載事項の変更及び書類の返還は認めません。
- ② 出願書類の記載事項と相違した事実が判明した場合は，入学を取り消すことがあります。
- ③ 郵送する場合は，書留郵便とし，角型 2 号の封筒に入れて封筒の表に「専攻科出願書類在中」と朱書してください。

4. 選抜の方法

入学者の選抜は，面接（業務経験等の概要又は専門科目に関すること），出身学校長から提出された調査書及び TOEIC のスコアを総合判定して行います。面接を受験しないと失格（不合格）になります。

面接期日等

期 日	区 分	時 間	場 所
令和 8 年 6 月 21 日（日）	面 接	10:00～	石川工業高等専門学校 （石川県河北郡津幡町北中条）

5. 受験上の注意事項

- (1)面接当日は、9時40分までに受付を済ませてください。20分以上遅刻した場合は、受験できません。
- (2)交通機関の混乱等、不測の事態に備え、受験者はあらかじめ十分な対策を講じておいてください。
- (3)受験票、筆記用具を必ず持参してください。

6. 合格者の発表

令和8年6月24日（水）正午頃に本校構内に掲示するほか、受験者全員に可否を文書で通知します。電話又は電子メール等による可否の照会には応じません。

7. 意志確認書の提出

合格通知を受けた者は、「意志確認書」を令和8年11月27日（金）17時必着で石川工業高等専門学校学生課入学試験係へ提出してください。

8. 入学手続等

入学手続日、入学に必要な書類等については、「意志確認書」で入学の意志を表示した者に、2月下旬に通知します。

なお、企業等に在職のまま入学を希望する者は、入学手続日までに所属企業等の長の承諾書を提出してください。

9. 障害等のある者の出願

障害等があり、受験及び修学上特別な配慮を必要とする者は、出願に先立ち、事前に相談してください。

相談先：石川工業高等専門学校 学生課入学試験係

〒929-0392 石川県河北郡津幡町北中条 電話 076-288-8024

VII 金沢大学と石川工業高等専門学校との 連携教育プログラムについて

1 概要

「高等専門学校専攻科との連携教育プログラム」は、金沢大学理工学域と石川工業高等専門学校が連携して、双方が強みを持つ教育資源を有効に活用しつつ、教育内容の高度化を図ることを目的とし実施するものです。

本プログラムは、金沢大学理工学域電子情報通信学類情報通信コースと石川工業高等専門学校専攻科の間で実施するもので、金沢大学と石川工業高等専門学校の双方に在籍し、双方の修了要件単位を取得することで、金沢大学から学士（工学）の学位と石川工業高等専門学校から専攻科の修了証を授与するものです。金沢大学を卒業後は、大学院自然科学研究科（博士前期課程、博士後期課程）への進学も期待されます。

2 募集人員，出願資格，出願期間，出願手続，選抜方法，検定料・入学料・授業料 等

令和9年度金沢大学理工学域編入学（3年次）高等専門学校専攻科との連携教育プログラム特別選抜学生募集要項をご覧ください。

URL https://www.adm.kanazawa-u.ac.jp/south/s_gakusei/ee.html

なお、出願期間は、石川工業高等専門学校専攻科の推薦による選抜の合格者発表から、あまり日がないため、石川工業高等専門学校専攻科の受験を検討する段階で、指導教員や担任等の指導を受けて、出願書類等に不備がないよう、十分注意してください。また、金沢大学の出願方法は、Web出願限定です。

3 金沢大学問い合わせ先

金沢大学理工系事務部学生課入試係

TEL (076) 234-6823

E-mail s-nyusi@adm.kanazawa-u.ac.jp

VIII 個人情報の取扱い

提出された入学願書や調査書等に記載されている情報及び選抜に用いた試験成績・評価といった入学者選抜を通じて取得した個人情報は、入学者選抜の資料として利用するとともに、次の目的のためにも利用します。

- (1)入学後の教育・指導
- (2)入学料，授業料の免除申請の審査
- (3)奨学金申請の審査
- (4)本校及び国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究
- (5)本校教育後援会，生活協同組合及び同窓会の事務
- (6)その他，個人が特定できない形で行う統計処理

専攻科入学案内

1. 教育目的

本専攻科は、高等専門学校における教育の基礎の上に、より高度な専門知識と技術を教授して、先端技術にも対応できる創造的な技術開発能力を備え、幅広い分野で活躍できる研究開発型技術者の育成を目的としています。

2. 学習目標

- A. 科学技術や情報を利用してデザインし創造することに喜びを知り、たゆまず努力することができる。
- B. 問題を発見・提起し、修得した技術に関する知識や理論によって解析し、解決までできる。
- C. 国際社会を多面的に考えられる教養と語学力を持ち、社会や自然環境に配慮できる。
- D. 実践的な体験をとおして、地域の産業や社会が抱える課題に積極的に対処できる。
- E. チームプロジェクト等を遂行するに必要な計画性をそなえ、論理的な記述・発表ができる。

3. 専攻及び入学定員

電子機械工学専攻……………12名

環境建設工学専攻……………8名

4. 修業年限及び修了要件

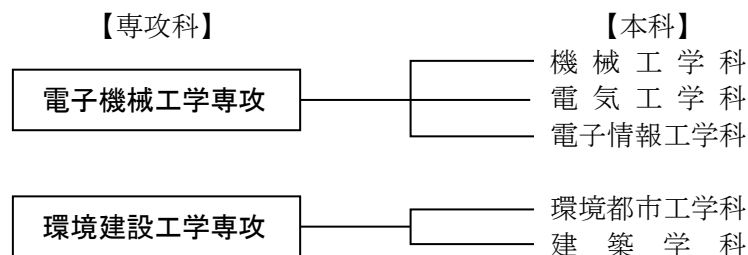
(1)修業年限 2年

(2)修了要件 62単位以上修得，創造工学プログラム修了

5. 各専攻の教育方針

電子機械工学専攻は、機械系、電気系及び電子情報系を、環境建設工学専攻は、環境都市系と建築系を基盤としています。

石川高専の本科との関係は次のとおりです。



(1)電子機械工学専攻

本専攻は、製造技術やシステム構築技術に関連する基幹学科を基盤としており、メカトロニクス技術、計測制御技術、情報通信、ネットワーク技術、新素材開発、さらにその周辺技術を広く教授する。また、特別研究、創造工学演習等の工学教育により、技術と人間環境との調和を図りながら、電子機械工学分野の研究開発に創造的・実践的に関わる総合技術者を育成する。

(2)環境建設工学専攻

本専攻は、都市や住環境など生活空間を創造・提供する基幹学科を基盤としており、力学を基礎とした構造設計、環境と機能を基礎としたシステムの都市計画、居住計画、さらに快適な生活空間設計のためのコンピュータ利用技術等を広く教授する。また、特別研究、創造工学演習等の工学教育により、技術と自然環境との調和を図りながら環境建設工学部門の研究開発に創造的・実践的に関わる総合技術者を育成する。

6. 専攻科の教育課程（令和8年度入学者）

*この教育課程は変更する場合があります。

〔共通科目〕

区分	授業科目	単位 区分	単位 数	学年別配当		
				1年	2年	
一般 科 目	日本語表現	必修	2	2		
	英語コミュニケーションⅠ	必修	2	2		
	英語コミュニケーションⅡ	必修	2		2	
	日本文化論	必修	2		2	
	健康科学	必修	2		2	
	一般科目開設単位数合計			10 単位		
	一般科目修得単位数合計			10 単位		

区分	授業科目	単位 区分	単位 数	学年別配当		
				1年	2年	
専 門 共 通 科 目	インターンシップ	必修	7	7		
	環境技術	必修	2		2	
	技術者倫理	必修	2	2		
	線形代数	必修	2	2		
	数理・データサイエンス・AI	必修	2	2		
	サステナビリティ・サイエンス	選択	2	2		
	離散数学	選択	2		2	
	量子力学	選択	2		2	
	専門共通科目開設単位数合計			21 単位		
	専門共通科目修得単位数合計			17 単位以上 (必修科目 15 単位を含む。)		

〔電子機械工学専攻〕

区分	授業科目	単位 区分	単位 数	学年別配当	
				1年	2年
専 門 展 開 科 目	特別研究Ⅰ	必修	6	6	
	特別研究Ⅱ	必修	8		8
	創造工学演習Ⅰ	必修	3	3	
	創造工学演習Ⅱ	必修	4		4
	電子機械概論	必修	2	2	
	センサ工学	必修	2	2	
	IoT システム概論	必修	2	2	
	計測制御工学	必修	2	2	
	エネルギー管理工学	必修	2	2	
	エネルギー機械工学	選択	2		2
	機械設計工学	選択	2		2
	機能素子工学	選択	2		2
	電磁応用工学	選択	2		2
	生体情報工学	選択	2		2
	メディア工学	選択	2		2
	専門展開科目開設単位数合計			43 単位	
専門展開科目修得単位数合計			35 単位以上 (必修科目 31 単位を含む。)		

一般科目を含む開設単位数合計	74 単位
一般科目を含む修了に要する修得単位数合計	62 単位以上 (1年次 30 単位以上)

(備考)

- ・1年次配当の総修得単位数が30単位に満たない者は、2年次配当の創造工学演習Ⅱを履修できない。
- ・すべて学修単位科目

〔環境建設工学専攻〕

区分	授業科目	単位 区分	単位 数	学年別配当	
				1年	2年
専 門 展 開 科 目	特別研究Ⅰ	必修	6	6	
	特別研究Ⅱ	必修	8		8
	創造工学演習Ⅰ	必修	3	3	
	創造工学演習Ⅱ	必修	4		4
	建設材料学	必修	2	2	
	地盤材料工学	必修	2	2	
	振動・波動工学	必修	2	2	
	建築環境調整論	必修	2	2	
	住生活文化論	必修	2	2	
	交通基盤工学	選択	2		2
	水圏環境工学	選択	2		2
	人間・環境デザイン論	選択	2		2
	環境景観論	選択	2		2
	専門展開科目開設単位数合計			39 単位	
専門展開科目修得単位数合計			35 単位以上 (必修科目 31 単位を含む。)		

一般科目を含む開設単位数合計	70 単位
一般科目を含む修了に要する修得単位数合計	62 単位以上 (1年次 30 単位以上)

7. 創造工学プログラム

石川高専では、本科5年間／専攻科2年間の一貫教育により社会の発展を支える技術者を育成しています。その中で、本科4年次から専攻科2年次までの4年間で構成される「創造工学プログラム」を設定しています。この教育プログラムは、複数の工学の知識を修得し幅広い考察ができる技術者を育成するための「複合工学修得コース」と、専門工学を探究し深い考察ができる技術者を育成するための「専門工学探究コース」で構成されています。このうち複合工学修得コースは、JABEE（日本技術者教育認定機構）より国際的に通用する技術者教育プログラムとして認定を受けており、修了生は技術士の一次試験を免除され、技術士補となる資格が与えられます。

いずれのコースも人間性に富み、創造性豊かな実践力ある研究開発型技術者の育成を目指しています。

なお、創造工学プログラムは本科4年次、5年次の課程を含むため、現在の本校のカリキュラムを修了していない場合には「複合工学修得コース」を選択できない場合があります。

また、複合工学修得コースにおいて、1年次に創造工学プログラムの学習教育目標C(2)の総合的評価を満たさない者は、2年次の創造工学演習Ⅱを履修できません。

創造工学プログラムについては、以下のURLを参照してください。

URL:<https://www.ishikawa-nct.ac.jp/jabee/menu.html>

8. 学士の学位取得

本校専攻科は、（独）大学改革支援・学位授与機構において認定された専攻科であり、同機構の定めた条件を満たすことにより、学士（工学）の学位が授与されます。

9. 入学時に必要な経費（令和8年度の額）

(1)入 学 料 84,600 円

(2)授 業 料 117,300 円（年額 234,600 円）

在学中に授業料の改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。

(3)教科書代等 別途指示します。

10. その他の経費（令和8年度の額）

(1)教育後援会費 30,000 円（入会費 10,000 円，年会費 20,000 円）

本校の本科から継続して進学する者は、入会費の納入は不要です。また、入学時に兄弟姉妹が本校に在学している場合も入会費の納入は不要です。

(2)石川高専生活協同組合出資金 5,000 円（修了時に全額返還）

11. 入学料・授業料の減免・徴収猶予制度及び給付奨学金制度

令和2年度から文部科学省により高等教育の修学支援新制度が開始されました。対象となる学生は、授業料・入学料の免除または減額（授業料等減免）及び給付型奨学金の支給を受けられます。

詳しい内容は、以下日本学生支援機構のホームページをご確認ください。

<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/about/kyufu/index.html>

なお、上記の修学支援新制度による支援を受けられない場合で、以下の項目に該当する場合は、本校学生課学生係にお問い合わせください。

①入学前1年以内に主たる学資負担者の死亡若しくは風水害等の災害に遭うなどの特別な事情があり、入学料・授業料の納付が困難で学業成績が優秀な学生

②授業料の各期の納付期限前6月以内において、学資負担者の失職等により著しい家計の急変があり、経済的に授業料の納付が困難である学生

12. 貸与奨学金制度

(独)日本学生支援機構の規定に基づき、学資の支弁が困難と認められる者に対し、本人からの申請により、選考の上、(独)日本学生支援機構から奨学金が貸与される制度があります。

13. 学生寮

本校の学生寮は、十分な部屋数がなく、本科の低学年を優先しているため、原則として専攻科在学者に対する入寮募集は停止しています。

専攻科における代表的な研究テーマ

I 電子機械工学専攻

ロボットの自律制御システムの開発
材料製造とエネルギー有効利用にかかわる伝熱的研究
ロボットの機構開発およびその制御に関する研究
導電繊維素材によるセンシングに関する研究
新素材の創生に関する研究
新加工法に関する研究
人間社会に貢献する機械設計開発に関する研究
破壊メカニズムに基づいた機器開発に関する研究
リバースエンジニアリングに基づいた静的および動的的特性評価
人体モニタリング技術を活用した生活支援システムの開発に関する研究
スポット消音を行う音響制御についての研究
サステナビリティを目指した近未来計測工学の展開
電磁波工学関連の観測システム開発・計測，及び遠隔探査に関する研究
無機・有機半導体薄膜の作製とデバイスへの応用
電気電子系技術者育成のための教育・教材に関する研究
コンピュータシミュレーションを用いた物性解析
機能性デバイスの作製と評価
パワーエレクトロニクス技術を用いた制御装置に関する研究
フィードバック制御系によるシステム開発
環状磁場閉じ込めプラズマに関する研究
パルスパワー発生回路および回路設計と高電圧・プラズマ応用に関する研究
光を用いた生体計測に関する研究
ものづくり教育教材に関する研究
環境モニタリングシステムに関する研究
画像情報処理に関する研究
屋内位置検出によるアプリケーション開発
メディアコンテンツ制作
AI (artificial intelligence) , IoT (internet of things) , Big Data に関する研究
VR/AR/MR (virtual / augmented / mixed reality) に関する研究
情報ネットワーク, SNS, セキュリティに関する研究
ハードウェア設計記述の検証・テスト・デバッグ支援に関する研究
画像メディアの品質評価と応用に関する研究

II 環境建設工学専攻

各種地盤材料の特性解明とその改良
橋梁及びコンクリートの長寿命化に関する研究
河川表流水と地下水および土砂輸送の相互作用に関する研究
地震時の土構造物の破壊に関する研究
河北潟流域の水質と農業に関する研究
持続可能な地域をつくるための交行動分析・評価手法の開発
鋼構造物のメンテナンスに関する研究
硫黄サイクルと ANAMMOX を活用した畜産関連排水処理の開発
下水サーベイランスによる感染症流行把握に関する研究
空間構成による環境形成の研究
都市・農村等の地域特性をふまえた地域活性化手法の分析
地域特性を考慮した構造物の動的挙動に関する解析
地域に現存する伝統的建物に関する研究
建築史にみる住宅建築に関する研究
建築に関わる音と光環境と人の生活環境との係わり
生活環境の形成による文化的風景および地域景観の研究
近現代建築における思想と作品の関係性に関する研究
温熱環境の制御による快適性と機能性の向上に関する研究
建築物の耐震性能向上における付加的な装置の開発に関する研究
住環境とまちづくりのしぐみに関する研究

学校位置図

